

各位

上場会社名 株式会社 Olympicグループ
代表者 代表取締役社長 大下内 徹
(コード番号 8289)
問合せ先責任者 取締役総務部長 木村 芳夫
(TEL 042-300-7200)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年1月12日開催の取締役会において、2022年2月期決算短信発表時(2022年4月12日)に公表した2023年2月期通期(2022年3月1日～2023年2月28日)の連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	105,000	2,600	2,500	1,400	60.95
今回修正予想(B)	93,500	350	250	100	4.35
増減額(B-A)	△11,500	△2,250	△2,250	△1,300	
増減率(%)	△11.0	△86.5	△90.0	△92.9	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	98,849	1,928	1,814	905	39.42

修正の理由

2023年2月期においては、新型コロナウイルス感染症に端を発した行動制限の緩和による生活様式の変化に伴い「巣ごもり需要」がなくなり、食品分野については昨年までの内食需要の反動減もあるなど厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、物価上昇圧力の影響から景気の先行きが不安定な状況が続き、消費者の節約志向の高まりを受ける中、当社グループは新規出店や、業態変更を含めた積極的な改装を実施するなど業容の拡大に努めてまいりましたが、営業収益に関しましては、当初の予想を下回る見込みとなりました。

また、利益面におきましては、生産性の向上や、将来的なコスト上昇等を見据えて可能な限り経費の削減に努めてまいりましたが、急速な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格や原材料価格の上昇もあり、第3四半期までの業績と足元の事業環境を踏まえ、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても通期の業績予想を修正いたします。

なお、配当予想は修正していません。

※ 上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上